

豊島区東日本大震災支援活動 復興祈念写真展&コンサート



写真展

2022年6月3日(金)
～6月5日(日)

東京芸術劇場 地下1階
アトリエイースト

コンサート

2022年6月5日(日)

豊島区立池袋西口公園
グローバルリングシアター



主催

豊島区災害復興支援活動実行委員会
特定非営利活動法人 全国災害復興活動支援機構

共催

豊島区

第1部 東日本大震災復興支援開会式

1. 和太鼓によるオープニング

- 東京都立千早高等学校和太鼓部

2. 開会の辞

3. 黙とう

4. 主催者挨拶

- 実行委員会会長 高野 之夫
- 実行委員長 南山 幸弘

5. ご来賓祝辞

6. ご来賓紹介

7. 復興祈念絆の輪セレモニー

- 公益社団法人日本外国特派員協会
元会長 カルドン・アズハリ
- 豊島区区長 高野 之夫
- 気仙沼市長 菅原 茂
- 宮城県立気仙沼高等学校
小松 愛奈



8. 閉会の辞

第2部 復興祈念コンサート

1. 開会の辞

2. 東京消防庁音楽隊による演奏

- 陽はまた昇る
- ビター・スウィート・ボンバ
- 群青
- 海を越える握手（カラーガーズ隊演技）
- 負けないで（カラーガーズ隊演技）

3. 防災宣言

- 池袋消防少年団、豊島消防少年団
- ボーイスカウト豊島7団・17団
- 東京都立千早高等学校

4. 在日米陸軍軍楽隊による演奏

- スピリット・オブ・ザ・USA
(指揮：スミス 3曹)
- ソングス・フォー・ジャパン
(トロンボーンソロ：モリス 3曹)
- うえを向いて歩こう
(ボーカル：ボストン 2曹)
- キャラバン（ドラム：ミラー 3曹）

5. 東日本大震災復興支援活動の紹介

- 立教大学
- 豊島区民社会福祉協議会

6. 陸上自衛隊第1音楽隊による演奏

- キボウノカゼ
- 花は咲く《シンフォニック・アレンジ》
- 明日へ（ボーカル：3等陸曹 綾 愛佳）
- 東北民謡メドレー『みちのく讃歌』

7. 謝辞

- 特定非営利活動法人全国災害復興活動支援機構
理事長 坂根 直樹

8. 閉会の辞



豊島区災害復興支援活動実行委員会会長
豊島区長

高野 之夫

豊島区東日本大震災支援活動復興祈念写真展&コンサートの開催によせて

この度は、ここ豊島区において、東日本大震災支援活動復興祈念写真展&コンサートが盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

この写真展とコンサートは、コロナ禍により当初の開催予定から一度延期となりましたが、特定非営利活動法人全国災害復興活動支援機構様をはじめ、多くの皆様にご尽力いただき、開催を迎えることができました。改めて感謝と敬意を表します。

今回、会場となります、池袋西口公園グローバルリングでは、先日、世界的指揮者小林研一郎さん指揮のもと、ウクライナ支援コンサートを開催しました。集まった約2,000人の観客の皆さんと一緒に祈りの想いを演奏に託し、ウクライナをはじめ世界に届けました。今回の写真展およびコンサートでも皆さんの復興への想いが被災地にしっかり届くことと思います。

さて、東日本大震災の発生から今年で11年になります。改めて亡くなられた方々や被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。発災当日は、豊島区におきましても、まさに帰宅困難者があふれ、大混乱したことが昨日のように思い出されます。

また、私も発災2か月後に被災地である宮城県に赴き、その被害の大きさを目の当たりにしました。自然災害の恐ろしさを感じるとともに、災害への備えに対する重要性を再認識いたしました。現在、豊島区では、新型コロナウイルス等の感染症との複合災害、災害弱者の視点にも配慮した防災対策等、安全安心のための取り組みを進めています。

結びになりますが、今後も、特定非営利活動法人全国災害復興活動支援機構様の益々のご発展と、協力・協賛者の皆様のご活躍、さらなる被災地の復興を心から祈念いたします。



豊島区災害復興支援活動実行委員会
実行委員長

南山 幸弘

未曾有の東日本大震災から、早いもので、11年が経ちます。改めて被災された方々、またお亡くなりになられた方々に心よりお見舞い申し上げます。

現在も、なお約4万人の方々が避難生活を、余儀なくされております。大変ご苦労されていることと重ねてお見舞い申し上げます。

このたび、特定非営利活動法人全国災害復興活動支援機構の坂根理事長とご縁がありまして、豊島区東日本大震災支援「復興祈念写真展&コンサート」を開催する運びとなりました。

日頃より皆様に、ご協力ご支援いただいております公益社団法人豊島法人会でも社会貢献活動の一環として、豊島区と連携し「オール豊島」を掲げて、豊島区の各団体・企業の皆様のご協力のもと、まだコロナ禍ではありますが、この日を迎えることができました。また、多くの企業・団体・個人の皆様にはご協賛を賜り、心より感謝申し上げます。

11年の歳月が流れる中で、震災当時の教訓や記憶などが薄れていく中、後世に継承し風化させないためにも、写真展を開催する中で、改めて皆様に発生当時の自衛隊の方々の支援や様々な方々の支援の様子を、感じ取っていただければ幸いです。またこれを機会に皆様にも、災害の記憶を風化させず日頃より防災意識を、持っていただければ、この写真展とコンサートを開催した目的が達成され、意義があるものと考えております。

本日は、オープニングセレモニーとして都立千早高校による和太鼓の演奏がおこなわれます。また次回開催の被災地でもあります宮城県気仙沼市へ復興の絆となるバトンを引き継ぐとともに、次世代に災害の経験を繋げるため、池袋消防署消防少年団・ボーイスカウト・都立千早高校の生徒たちによる防災宣言を実施いたします。そのあと陸上自衛隊第一音楽隊・米陸軍軍楽隊・東京消防庁音楽隊の3音楽隊による演奏がおこなわれます。この3音楽隊が同時に演奏することはとても貴重でめったにない機会となります。3音楽隊の演奏を聴いていただき有意義でまた楽しいひと時を感じていただければ幸いです。



特定非営利活動法人全国災害復興活動支援機構
理事長

坂根 直樹

このまちに未来がある。この地に希望と活力があります。

「オール豊島」の情熱と心意気でさまざまな団体が結集された豊島区実行委員会の会長・高野之夫区長様、実行委員長の南山幸弘豊島法人会長様はじめ構成諸団体様のご尽力で、復興祈念の東日本大震災支援復興写真展と開会式、コンサートができますことをたいへん有難く存じております。

まず、区制90周年を迎えられました豊島区様に心からの敬意を表したいと存じます。

そして、11年前の東日本大震災はじめ度重なる災害で亡くなられた方々、被災された方に心からお見舞いを申し上げますとともにさらなる復興をお祈り申し上げます。

世界の個性的な文化・芸術、そして歴史を生かした新たな潮流が集う魅力的な大拠点・豊島区には3・11の被災の記憶とともに東北復興への熱い思いから様々な形で力強い支援を長期にわたり続けられた実績が脈打っておりますことに敬服するばかりでございます。わたしどもは、大震災後、各地の市民が集い被災地の救援、復旧、復興にあたられた多くの団体、ボランティアの皆様感謝するとともに記憶を風化させることなく次世代に繋ぎ、防災と備え、意識の啓発を行う目的で諸団体様より貴重な支援記録を借り受け、この10年余で全国44か所の施設を巡回し、無料での写真展、防災フェアを行ってまいりました。この間、各地の観覧者は5万人を越え、協力頂いたボランティアの方々は千人以上を数えます。

このたび、ご縁を頂き、東日本では初めてのターミナル開催となりました。今回は、30を超す団体、ボランティア、被災者の方々から1000点の大切な支援活動記録をご提供いただき、うち、400点を掲示することになりました。また、併せて、開会式には被災地・宮城県気仙沼市の方々のほか、支援団体代表、自衛隊、在日米軍、東京消防庁の被災支援3音楽隊が集われ、区民の皆様へ被災地と豊島区との連携交流をよびかける行事を企画しております。同時に危機管理展示も行います。

この事業を契機に今後は開催地を連携交流の輪で繋ぐことを願って関連催事を計画しました。1年前から準備頂いた豊島区の皆様、被災地の皆様、出展ご協力の団体、ボランティアの皆様にお礼を申し上げるとともに、都民、区民の皆様が憩われる会場をご提供いただきました東京都、豊島区様に深く感謝申し上げます。

♪ ご来賓の方々からのメッセージ



東京都知事

小池 百合子

東日本大震災から11年が経ちました。改めて、震災で亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りいたします。

私たちは、この悲しい記憶を決して風化させることなく、未来に引き継いでいかなければなりません。災害に強い社会を築き上げていかなければなりません。この間、東京都としても耐震化や不燃化などあらゆる対策を講じてまいりました。そして、先日、これまでの取組の成果や社会環境の変化を踏まえ、新たな被害想定を公表しました。今後、「地域防災計画」を見直すとともに、様々な取組を推進してまいります。

災害時には、警察、消防、自衛隊、在日米軍などが、一刻も早く救出活動を開始できることが重要です。緊急輸送道路が閉塞しないよう、沿道に立地する大規模マンション等への補助を拡充し、耐震化をさらに加速します。無電柱化についても、昨年改定した「東京都無電柱化計画」に基づき着実に推進してまいります。とりわけ、電柱の倒壊が避難経路の遮断などの深刻な事態を招く木密地域では、私道に係る整備を東京都が全額負担し、早期の実現を図ります。さらに、デジタル技術などの先端技術を活用し、視覚的に災害の実相をシミュレートできるアプリを配布するなど、災害対策をより一層推進いたします。

世界に伍して成長を続ける都市の力も、いきいきと輝く「人」の力も、安全・安心という基盤の上にこそ発揮されるものがあります。都民の命と財産を守るために、東京都は不断に備えを固めます。

昨年、東京23区内では、東日本大震災以来となる震度5強の地震が発生しました。「備えよ、常に」の精神が大切です。今一度、11年前の大震災当時を振り返り、私たち一人ひとりが行動していかなければなりません。

この豊島区と特定非営利活動法人全国災害復興活動支援機構が主催する東日本大震災復興写真展をご覧いただき、自らの防災の取組のきっかけにしましょう。また、大震災時のみならず、あらゆる災害において、被災された方々の心に希望の光をもたらし、昼夜を分かたず救援活動に尽力されている陸上自衛隊、在日米陸軍、東京消防庁の演奏を楽しみながら、安全・安心な未来に向けて歩みを進めましょう。

皆さま、良い休日をお過ごしください。



統合幕僚長 陸将

山崎 幸二

平成23（2011）年3月11日に発生した東日本大震災から11年が経ちます。未曾有の大震災は東北地方を中心に甚大な被害をもたらし、多くの尊い命が犠牲となりました。改めて、震災により犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表します。

当時、震災による未曾有の被害にみまわれた我が国に対し、同盟国たる米国は「トモダチ作戦」として前例にないほど多くの人員・艦船・航空機等を投入し、搜索救助、物資輸送、仙台空港の復旧、学校の清掃、気仙沼大島における瓦礫除去作業、さらには日米共同での行方不明者の集中搜索などを行い、その活動は日本人の記憶に深く刻まれました。

「トモダチ作戦」は、長年にわたる日米共同訓練などの成果であり、これまで培ってきた日米の絆の強さが証明されたものと言えます。また、作戦を通して得られた教訓は、60年余の歴史を刻む日米同盟のさらなる深化・発展に確実に生かされています。現在、新型コロナウイルスへの対応のさなかにおいても、様々な取り組みを通じて日米共同対処能力の向上に努めており、日米同盟がもたらす強固な絆は、将来に亘って揺るぎないものとなっています。

自衛隊は、厳しい安全保障環境下において、大規模災害を含むあらゆる事態に迅速かつ的確に対応するため、自らの防衛力の主体的・自主的な強化に加え、日米同盟の抑止力・対処力の強化、幅広い分野における協力の強化・拡大に努めていくことをお誓いします。

最後に、本写真展を通じて「トモダチ作戦」の活動を多くの方々が目にすることで、今なお困難な状況におられる被災者の方々の心の支えとなるとともに、支援の新たな輪の一助となることを祈念いたします。



在日米陸軍司令官 米国陸軍少将

ジョエル B . ヴァウル

Today, we gather to commemorate the 11-year anniversary of the devastating earthquake, tsunami, and subsequent nuclear crisis that struck the Tohoku region on March 11, 2011.

I would like to honor those who lost their lives, and to offer my deepest condolences to their families. I also extend my heartfelt sympathies to all who have been affected by the disaster.

Despite the extreme demands of Operation TOMODACHI, the United States Army recognized the importance of the bilateral relationship and ongoing partnership between our two countries. We were determined to demonstrate how greatly we value this connection by supporting the Japanese people as they suffered this disaster.

In the spirit of our motto “Ichidan,” Japanese for “One Team,” I believe that USARJ will continue to keep strengthening these ties with our Japanese counterparts.

2011年3月11日に発生した東日本大震災から今年で11年を迎え、我々は追悼のためにこの場集っています。

東日本大震災により亡くなられた方々に深く追悼の意を表しますとともに、亡くなられた方々とそのご家族に対しましてお悔やみ申し上げます。

震災当時、我々在日米陸軍はトモダチ作戦において刻々と変化する状況に直面するとともに50年余年に渡り築き上げてきた日米友好の価値を再確認しました。トモダチ作戦は危険をも顧みず、尊敬、協調の精神を持ち合いつつ協力して支援にあたった日米両国の強さと信頼を象徴するものとなりました。

在日米陸軍には「一団」「ワンチーム」というモットーがありますがその精神に基づいて、今後も日米同盟の更なる強化を実現していくものだと信じております。

気仙沼市長

菅原 茂



豊島区東日本大震災支援復興祈念写真展&コンサートの開催にあたり、豊島区災害復興支援活動実行委員会様並びに特定非営利活動法人全国災害復興活動支援機構様、関係者の皆様の献身とご尽力に敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

時の流れは早く、東日本大震災の発生から、11年の月日が過ぎ去りました。

多くの尊い人命が失われ、先人が築いてきたふるさと気仙沼は姿を変え、市民の家々や財産、思い出など、それまでの日常が一瞬で奪われてしまいました。

震災後の復旧・復興には、豊島区からも応援職員を派遣いただくなど、これまで数えきれないほど多くのご支援を、全国・全世界の皆様からいただきました。改めて衷心より御礼を申し上げます。

復旧・復興が進み、それとともに人々の記憶も薄れつつある中、私たちの使命は、震災の記録や経験を後世に伝え、次の世代につなげることであります。

自然の猛威に抗うことはできませんが、教訓を糧に被害を最小に抑えることはできると考えております。

この度、開催される震災時の復興支援活動の写真展示やコンサートを通じて、震災の記憶を風化させないことは大変意義のあるものであります。大災害の救援、復旧・復興にあたられた自衛隊と米軍の支援による「トモダチ作戦」、東京消防庁をはじめ、全国の消防、警察などの諸団体、全国からのボランティアの活動、支援など、当時のことが思い起こされ、同時にかけがえのない「縁」をたくさんいただいたと感謝しております。

本市においても、本年9月に豊島区から連携の絆を受け継ぎ、写真展&祈念コンサートの開催を予定しております。皆様の目で復興・再生した姿、新たな気仙沼をご覧になっていただき、末永く本市を応援していただければと存じます。

出演者紹介

司 会

知久 晴美（ちく はるみ）

- 豊島区在住
- 演出家 MC ボイストレーナー
- 劇団ムジカフォンテ・NPO 法人ムジカフォンテ代表理事
- 劇団東俳音楽・演技講師 日本演出者協会会員
- NPO 法人「としまの記憶」をつなぐ会理事
- 女声カルテット「ハモローザ」歌手

豊島区制施行 80 周年より豊島区行政やとしま未来文化財団などの様々な委員を務め、小学校等での教育を中心に社会貢献活動に力を注いでいる。

今回は、公益社団法人 豊島法人会 社会貢献委員として司会を務めさせていただきます。



東京都立千早高等学校和太鼓部

和太鼓部は文化祭や学校周辺のイベントでの演奏、また日本文化の継承のため日々練習をしています。和太鼓部には外部の指導者ではなく先輩が代々引き継いで後輩に教えています。部員のほとんどは和太鼓初心者ですが、基礎から始め、体を動かしながら練習をしていくことでみんなで揃った演奏ができるようになりました。

新学期になり部員が増え、これが初めての本番になります。本日は現役の 1.2 年生に加え、OB、OG の先輩を交えての演奏になります。和太鼓部はそれぞれ学年ごとに衣装があり、学年の個性が出ているので注目してみてください。

動きの揃った迫力のある演奏でイベントのオープニングを盛り上げて参りますので最後までお楽しみください。



東京消防庁音楽隊



東京消防庁音楽隊は、昭和 24 年に日本初の消防音楽隊として創立し、今年で 73 年目を迎えました。昭和 39 年に行われた東京オリンピックでの演奏をはじめ、国家的行事や東京都の主催行事、さらには都内各地域の皆様からの要請を受け演奏活動を行ってきました。誰もが安全で安心して暮らせる「セーフ シティ」の実現のために、演奏活動を通して防火・防災を呼びかけています。

在日米陸軍軍楽隊



在日米陸軍軍楽隊は1941年にノースキャロライナ州キャンプデービスにて第96沿岸砲兵軍楽隊として産声をあげ、1943年再編成され、第296陸軍軍楽隊として再指定された後、第二次世界大戦中には西太平洋軍事行動に参加しました。以来、在日米陸軍軍楽隊として日本へ任命され現在に至ります。現在は神奈川県キャンプ座間に駐留し、毎年武道館で行われる自衛隊音楽まつりを始め、呉みなと祭、横浜国際パレード、そして、さっぽろ雪まつりなど日本各地の行事にて日米親善のための演奏活動や広報活動を行っています。また、地元であるキャンプ座間において毎年行われる日米親善盆踊り大会、桜まつり、そして米国独立記念祭においても演奏をしており、総観客数は述べ3,000,000名を超えます。在日米陸軍軍楽隊は、豊かな伝統と輝かしい任務の歴史を誇りに、明るい未来を見すえて、今後も日本での音楽任務を継続していきます。

陸上自衛隊第1音楽隊



第1音楽隊は、昭和28年に発足、東京都練馬区、練馬駐屯地に所在し、首都圏の防衛・警備・災害派遣等を担任する第1師団唯一の音楽科職種部隊です。現在、第26代隊長、新田祐樹 1等陸尉以下39名により、東京をはじめ神奈川・埼玉・静岡・山梨・千葉・茨城の1都6県を演奏担任区域とし、「定期演奏会」「ふれあいコンサート」「巡回演奏」をはじめ、隊員の士気高揚のための演奏及び各種イベント等での演奏支援等、国家的行事を含め、年間約120回、延べ30万人の方々に対し演奏活動を行い、地域の皆様に親しまれております。

協力団体ブース



1 VR 防災体験車

最新のバーチャルリアリティ技術を活用したこれまでにない臨場感あふれる防災訓練をお届けする専用の大型車両です。360°の立体映像と揺れ、風圧、熱などの演出による、地震・火災・風水害の疑似体験ができます。いざというときのために、命を守る力を身につけましょう。

2 東京消防庁

- 防火防災関係のご案内
- 消防アプリスタンプ発行場所

3 中小企業基盤整備機構

中小・小規模事業者・ベンチャー企業のイノベーションや経営課題解決など各種支援メニューのご紹介や、災害などに備え、平時に事業の優先度を見直す事業継続力強化計画策定支援の相談会などを開催いたします。

4 東京都

今やろう、地震・風水害への備え。

防災に役立つ各種冊子の配布、パネル展示を行います。防災備蓄 Web サイト「東京備蓄ナビ」の体験でノベルティをプレゼント！(数に限りがあります) 防災サイくんも遊びに来るよ！

5 JDR

東北から九州まで 50 余人が集う特定非営利活動法人全国災害復興活動支援機構 (略称 JDR) は大学生から 90 歳のボランティアがこの 10 年間、44 か所の会場で復興祈念写真展及びコンサート、防災展を開いてきました。今回は、JDR 会員の 4 つの事業社が製造、取り扱っている防災無線やドローン、粉炭製品など危機管理用品の一部を展示し、説明します。

6 自衛隊

自衛隊音楽隊とは？自衛官とはどんな人たち？

いつも、ほふく訓練ばかりしている？いろんな疑問に現職の自衛官がお答えします。また、災害派遣時に使用する装備品等の展示をしています。ぜひお立ち寄りください。お待ちしております。

7 気仙沼

昨年の朝ドラ「おかえりモネ」の舞台、宮城県気仙沼から美味盛り沢山！ふかひれ、わかめ、海苔、乾燥ホヤ等おつまみ各種、さんま燻製、気仙沼のソウルフード「クリームサンド (全 9 種)」もご用意してお待ちします！

8 宮城県東京事務所

震災の被害状況や復興の歩みを紹介するパネルの展示やパンフレット等の配布、宮城県の観光物産情報紹介、JR 池袋駅東口にあるアンテナショップ「宮城ふるさとプラザ」の割引チケット配布などを行っています。

9 豊島法人会ブース

豊島法人会のブースは豊島税務署と共同で出展しております。税務研修等についてお知らせ致しております。その他税務に関する資料を配布しております。

ボーイスカウト

1907 年にイギリスで行った実験キャンプが始まりで、本年にボーイスカウト日本連盟は、創立 100 周年を迎えます。全世界の 172 の国と地域で 5,700 万人が参加し、豊島区内にも 7 つの団があり活動を続けております。また、日本ジャンボリーが東京を中央会場として本年 8 月に開催され、約 1 万人のスカウトたちが集います。街で制服を着たスカウトがいたら、気軽に声を掛けてください。そして一緒に野外活動を楽しみませんか。

防災宣言

東日本大震災から11年

大震災は、昔のことではありません。

世界の、どこかのまちで起こった災害は

今日、この街で起こるかもしれません。

ぼくたち わたしたちは 災害から自分を守ること

災害から愛する家族を守ること

災害からまわりの人たちを守ること

をしっかり考えます。

今も、これからも、

誰もがニコニコ過ごせるまちになるように

災害に強いまちづくりのため

自分の命は自分で守るため、

東日本大震災から学びました。

家族でお互いに連絡を取り合い、

家族の絆を深めます。

自分たちだけでなく、

困っている人たちのことも考えて行動します。

いつも笑顔で挨拶し、人とのつながりを大切にします。

平成23年、2011年3月11日

午後2時46分に発生した、

「東北地方太平洋沖地震」により、

2万人近くの多くの尊い命が奪われました。

「3.11（サンテンイチイチ）を忘れない」

この言葉は、

被災された地域だけに当てはまるものではありません。

私たちの住むまちでも、

いつ大きな地震が発生するかわかりません。

私たちは、東日本大震災から学んだことを忘れず、

私たちに、今、何ができるのかを考え、

地域の方々と手を取り合い、

世界一 安全で安心なまちをめざすことを宣言します。

令和4年6月5日

「池袋消防少年団 豊島消防少年団」

「ボーイスカウト 豊島7団・17団」

「東京都立千早高等学校」

東京消防庁 豊島消防少年団 池袋消防少年団



消防少年団は、地域の防災リーダーの育成を目的として、小学生から高校生までの団員と、団員の育成に熱意を持ったボランティアの指導者によって結成されています。東京消防庁管内には、地域の消防署ごとに80の消防少年団があります。豊島区には、池袋消防少年団、豊島消防少年団があり、月に1回程度消防署等に集まって活動しています。主な活動として、消防の仕事や防火防災に関する知識や技術を学ぶ訓練や、地域の行事へ参加して防火防災を呼び掛ける広報活動、高齢者施設への訪問などの社会奉仕活動を行っています。

ボーイスカウト



ボーイスカウト運動の始まりは、1907年に創始者であるベーデンパウエル卿がイギリスで20名の子どもたちに行った実験キャンプです。

その後、日本には1908年に伝来し、1922年に少年団日本連盟が結成され、本年ボーイスカウト日本連盟は、創立100周年を迎えます。

ボーイスカウトは子どもたちの自発的な活動を大切にしています。年齢や性格が異なる、さまざまな特性をもった少人数のグループの中で、それぞれが役割をもち協力して活動することで、一人では困難なことも仲間とともに経験し、徐々にできることを増やし、人の役に立つ喜びを学んでいきます。

東京都立千早高等学校



都立千早高等学校は池袋商業と牛込商業を発展的に統合し、牛込商業があった豊島区千早に、平成16年度に開校した新しいタイプの専門高校です。ビジネスと英語を中核としたこれまでの都立高校にない進学型専門高校で、今年度で19年目になります。

本校には課外活動として、CBP（千早ビジネスプロジェクト）というサークルがあり、昨年度はSDGsフェスティバルの運営のお手伝い、イクサンパークファーマーズマーケットへの出店、租税教室やSDGsに関する小学生の先生ボランティアなど、豊島区と連携した活動を実施しています。

♪ 東日本大震災復興支援活動の紹介

社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会



昭和 28 年に豊島区の民間福祉活動の推進母体として、町会、民生委員、地域活動団体、社会福祉施設、行政機関等が参加し設立されました。一人ひとりの社会生活課題の解決を目指す地域福祉事業を展開するとともに、誰もが地域でつながりあって暮らしていけるよう、地域住民や学校、企業等の参加も視野に福祉教育の推進や地域のつながりづくりへの支援等、広く地域の福祉醸成を進めています。

立教大学東日本大震災復興支援団体 Frontiers



私たち、立教大学東日本大震災復興支援団体 Frontiers は実際に東北を訪れ、東日本大震災の復興支援と、被災をされた方々にお話を伺う活動をしています。「震災を他人事にせず、自分事として考える」ということを大切に日々活動しています。新型コロナウイルスの影響で、現地に行くのは難しくなりましたが、それでもオンライン上で現地の大学生と繋がるなど、先輩方が繋いでくださった東北の方とのつながりが途絶えることがないように工夫をしながら動き続けています。東北の方とのつながりを大切に、次の世代に繋げていきます。



最寄駅：JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線 池袋駅

※来園時は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用などご協力いただきますようお願いいたします。

東日本大震災支援復興写真展

日時：2022 年 6 月 3 日 (金) ～ 6 月 5 日 (日)

会場：東京芸術劇場 地下1階 アトリエイースト

東日本大震災の復興支援にあたられた豊島区社協および東京消防庁、国土交通省、防衛省自衛隊、海上保安庁、警視庁、在日米軍等が被災地で行った支援の写真など、貴重な記録写真 400 枚程度の提供を受け、パネル展示を実施します。



▲米軍
(2011年4月6日)



▲自衛隊
(2011年3月)



▲東京消防庁
(2011年3月12日)

— ご後援 —

米国大使館、内閣府政策統括官（防災担当）、外務省、経済産業省、防衛省、復興庁、消防庁、国土交通省関東地方整備局、東京都、宮城県、警視庁、気仙沼市、独立行政法人 中小企業基盤整備機構、豊島区町会連合会、豊島区商店街連合会、一般社団法人豊島区観光協会、東京商工会議所豊島支部、公益社団法人豊島法人会、一般社団法人豊島産業協会、一般社団法人東京中小企業家同友会豊島支部、公益社団法人東京青年会議所豊島区委員会

— ご協力（敬称略） —

在日米陸軍軍楽隊、東京消防庁池袋消防署、豊島消防署、池袋消防団、豊島消防団、池袋消防少年団、豊島消防少年団、東京都立千早高等学校、社会福祉法人豊島区民社会福祉協議会、豊島区ボーイスカウト連絡協議会、自衛隊東京地方協力本部城北地区募集相談員連絡協議会、公益社団法人東京都自衛隊家族会、公益社団法人東京都隊友会、一般社団法人全国警備業協会、東日本旅客鉄道株式会社池袋駅、東京地下鉄株式会社、東武鉄道株式会社、西武鉄道株式会社、東日本電信電話株式会社東京北支店、豊島区内郵便局、養老乃瀧株式会社、日本赤十字社、潜水救難捜索協会、株式会社会世界地図、気仙沼市被災者の会、海上保安庁、日本郵便株式会社、東日本電信電話株式会社・ドコモ、東京都、東京都社会福祉協議会、東京警備株式会社、東京都生活協同組合連合会、東京都警備業協会、日本赤十字社東京支部、気仙沼市大島支援ボランティア、東日本高速道路株式会社の方々

— ご協賛（敬称略及び受付順） —

(公社) 豊島法人会、岡原 宏一、(株) 音羽、(株) 折原、東京池袋西口ロータリークラブ、カナマサ大東 (株)、浦野工業 (株)、(一社) 豊島産業協会、(株) セシム、豊島優申会、高村紙業 (株)、(株) ルミネ池袋店、宮田化学 (株)、(株) ローヤルエンジニアリング、(株) 新光商事、(株) 関越物産、税理士法人 深代会計事務所、(株) エフ・エム、池袋西口商店街連合会、明治安田生命保険相互会社 池袋支社、養老乃瀧 (株)、(株) モリカワ、(株) セイコーアドバンクス、豊島区商店街連合会、張 文忠、シワ技研 (株)、(株) 末広サービス、二和電気 (株)、(株) ファクト、(公社) 全日本不動産協会 豊島・文京支部、(株) 吉田事務所、特定非営利活動法人全国災害復興活動支援機構、興産信用金庫 城西支店、中央電設 (株)、NTT 東日本 東京北支店、(株) アレグロ、(株) ビーデーエスコンピュータ、一般社団法人 青色申告会、(有) ストーク、(株) 日建プランニング、神永 和昭、マキノ製缶 (株) エヌイージェー、(一社) 豊島区観光協会、(株) 城北石田ハカリ、西武信用金庫 池袋支店、加藤 直光、(株) サンシャインシティ、遠藤製鉛、東京三協信用金庫池袋支店、(株) そごう・西武池袋本店、豊島区町会連合会、(有) 富澤ラジオ電気商会、タカセ洋菓子 (株)、太陽土地住宅 (株)、(株) アル・エス・シー、岡部 俊夫、アイビジネスサポート (株)、(株) 中嶋富男建築設計事務所、(株) 東京クリーンサービス、アトベ企画合同会社、エースコック (株)、(株) エルゴニクス、あがつまタオル (有)、(株) 大石商店、(一社) 東京中小企業家同友会、AIG 損害保険 (株)、大同生命保険 (株)、西京信用金庫、小嶋 季司、松田 清美、東京商工会議所豊島支部、(株) エレコ、アフラック、(株) ニューステップ、(株) 大塚、渡邊建設 (株)、川辺食品 (株)、(株) システムクエスト、自衛隊東京地方協力本部城北地区募集相談員連絡協議会、アドナー (株)、大和産業 (株)、豊島区伝統工芸保存会、吉村 辰明、杉本 カネ子、NPO 法人いけがくろ大明、(株) アートプレス、東京信用金庫、(株) 三原堂、日本郵便 (株)、(株) 研学社、石坂司法書士事務所、東京地下鉄 (株)、三原 幹男、東日本旅客鉄道 (株) 池袋支社、野村証券 (株) 池袋支店、野村 光成、(株) リビエラ、(株) プロントコーポレーション、

桐生 翰